

## 【件名】

令和6年度 中野区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和5年度分）の結果に関する報告書の提出について

## 【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、中野区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を別添のとおり作成したので、これを議会に提出する。

## 1 目的

- ・効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに区民への説明責任を果たし、区民に信頼される教育行政を推進する。
- ・令和5年5月に策定した中野区教育ビジョン（第4次）に掲げる取組に係る点検・評価についても、この教育事務の点検・評価と一体的に実施する。

## 2 実施方法

中野区教育ビジョンに掲げる成果指標及び取組内容の進捗状況等に係る評価票を作成して点検・評価を行うとともに、外部評価委員会を設置し、学識経験者3名の意見を聴取した。

## 〈令和6年度重点項目一覧〉

視点① 「知」、「徳」、「体」のバランスのとれた教育		
重点項目	1	確かな学力の定着（知）／教員の授業力向上
重点項目	2	豊かな心を育む教育の充実（徳）
重点項目	3	体力・運動意欲の向上（体）／健康の保持増進
視点③ 一人ひとりを大切にする教育		
重点項目	1	確かな学力の定着（知）／教員の授業力向上 ※再掲
重点項目	4	いじめ対策及び不登校傾向の児童・生徒の支援強化
視点⑦ 学びの環境整備と子どもの安全対策		
重点項目	5	教育DXの推進

〈外部評価委員〉

※敬称略、五十音順

氏名	所属等
和泉 徹彦	嘉悦大学経営経済学部教授
小松 郁夫	国立教育政策研究所名誉所員
小宮山 郁子	目白大学人間学部児童教育学科教授

外部評価委員会は令和6年7月16日、8月6日、8月21日、10月11日の計4回開催した。

### 3 点検・評価結果の概要

(学識経験者からの意見等)

#### ① 外部評価による評価・改善

##### ■子どもの権利、意見表明

子どもの意見表明を大人が理解し、子どもが意見表明をできるよう各学校で普段の取組の中でさらに強調してほしい。

##### ■子どもの学びの機会の保障、豊かな心を育む

友達と一緒に自然体験等をするのが、心に大きく響くことの意義を、教員も今一度改めて認識して大切にしてほしい。

##### ■多様な学び方

中野区の教育支援室の体制と東京都の「学びの多様化学校」の関係をわかりやすく整理してほしい。

##### ■いじめ

学校現場の状況を保護者や地域にオープンに伝え、皆で学ぶ環境を作り、いじめ防止を積極的に広報していけるとよい。

##### ■健康の保持増進

生活習慣病やアレルギー等、子どもたち自身でも対応できるようにするとともに、アレルギーについては、周囲にも理解してもらえよう取組を進めてほしい。

##### ■就学前教育、学びの連続性

「中野区連携教育通信」は具体的な活動が掲載されていて素晴らしいが、ホームページからの閲覧については工夫するとよい。

##### ■中学校の英語教育

英語教育は中学校からの初修ではないため、習熟の程度が異なり複雑な環境となっている。アプリ学習と同時に、教員が伴走するなど、指導方法等の工夫をしてほしい。

#### ② 今後の課題について

##### ■総合的な学習、探究学習

学習指導要領で位置づけられているが、教科書もなく自治体や学校により取組状

況等に大きな差ができています。身に付けてほしい資質・能力を子どもたちへ分かりやすく伝え、また、良い事例を共有し、地域等の協力を得ながら進めていくことが重要である、

■教員の働き方改革

教員不足、労働華僑の過酷さ等、教員の働き方について課題がある。他自治体の事例等を取り入れ、教職員の働き方改革をさらに進めていくことが肝要である。

■教育DX

変化の激しい分野のため、ICTを使って個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるような新しい学びや指導について、スピード感をもって目指してほしい。

4 今後の予定

令和6年11月 区議会議長あて報告書提出

12月 区議会へ報告（子ども文教委員会）

ホームページにて公表